

■地域に根差した産業を核として、その周りに様々な産業を集積させる「地域産業クラスター」の形成に取り組むことにより、第一次産業から第三次産業までの多様な仕事を創出し、若者が地域で働き続けられる土壌づくりを目指していきます。

■クラスター形成を目指す「クラスタープロジェクト」として、18のプロジェクト(平成29年1月31日現在)を位置づけており、その一つひとつに、県、市町村、関係団体等で構成する「プロジェクトチーム」を設置し、プランの策定からその実行までを、サポートしていきます。

(平成29年1月31日現在)

地域別	クラスタープロジェクトの名称	取り組み概要
安芸	日本一のナス産地拡大プロジェクト	県東部の基幹品目であるナスの生産拡大を図るとともに、地域の直販所や飲食店等での利用促進、ナス料理や加工・特産品の消費拡大に取り組むことにより、クラスターの形成を図る。
	奈半利町の集落活動センターを中心としたクラスター	集落活動センターを拠点として、奈半利ブランドの確立と地域の所得向上につなげる。
物部川	南国市還元野菜プロジェクト	JA出資型法人「南国スタイル」を中心として、「還元野菜」の生産拡大を図るとともに、関連する直販所や農園レストラン等と連携した還元野菜販売や、メニュー提案等を実施することにより、還元野菜の里づくりを目指す。
	日本一のニラ産地拡大プロジェクト	日本一の生産量を誇るJA土佐香美の生産拡大を目指し、3つの生産拡大プロジェクトに取り組むとともに、食品関連会社等の誘致を視野に入れての新たな加工品の開発、地元飲食店でのメニュー開発等により、クラスターの形成を図る。
高知市	竹資源の活用による中山間地域の新たな産業の創出	県産竹材を活用した製品加工の拡大とともに、竹材の集荷や一次加工、竹チップの販売など竹資源を活用した新たな事業展開を図る。
	水産業中央地域広域展開プロジェクト	ブランド養殖魚の産地機能と、弘化台周辺の集荷・加工機能を生かしたクラスターの形成を図る。
嶺北	嶺北畜産クラスターによる地域の活性化	「土佐あかうし」「大川黒牛」「土佐はちきん地鶏」のさらなる生産拡大と6次産業化による付加価値の向上を図る。また、さめうら湖や山岳資源を活用したスポーツツーリズムにより観光振興・交流人口の拡大を図りながら、レストラン事業の展開も検討する。
	嶺北地域の林業クラスターによる地域の活性化	嶺北地域の豊富な森林資源を余すところなく活用し、地域経済の活性化につなげる。
仁淀川	日高村トマト生産拡大プロジェクト	日高トマト生産団地の拡大の取り組みを核として、中山間複合経営拠点の整備とも併せ、関連するJA出荷場、農産品加工施設、直販所、地元レストラン等が連携し、クラスターの形成を図る。
	<b>H29.1月追加</b> いの町生姜生産・販売拡大プロジェクト	いの町の生姜生産農家を中心として、生姜の集出荷場整備と併せ、地元加工業者や直販所、道の駅、学校及び商工会等が連携し、クラスターの形成を図る。
	佐川町で展開する自伐型林業での木材産業クラスター	林業の原木等の素材生産や農業生産を行う企業を新たに設立し、自伐型林業の担い手を育成・確保する。また、別途立ち上げるNPO法人において起業家を育成するとともに、町内製材所や集落活動センターと連携してものづくりを実践する。
	【再掲】水産業中央地域広域展開プロジェクト	ブランド養殖魚の産地機能と、弘化台周辺の集荷・加工機能を生かしたクラスターの形成を図る。
高幡	仁淀川町の事業者を中心としたカット野菜事業等の展開による雇用の確保と販売拡大	県内産野菜のさらなる活用のため、契約栽培を行う集落営農組織等を仁淀川流域はもとより県内に拡大するとともに、カット野菜加工施設の規模拡大に向けた安定的な原材料の調達を進める。
	四万十次世代モデルプロジェクト	次世代施設園芸団地でのトマト生産を核として、バイオマス供給施設、種苗供給施設、農産品加工・販売業者、地元レストラン等が連携し、クラスターの形成を図る。
	四万十ポークブランド推進プロジェクト	養豚農家の生産基盤の強化を図るとともに、関係機関が連携し安心安全な四万十ポークを消費者に安定供給できる体制を構築し、新たな6次産業化ビジネスの展開とあわせて地域の所得向上につなげる。
	<b>H29.1月追加</b> 四万十の栗プロジェクト	四万十の栗再生プロジェクト協議会を中心として栗の生産拡大を図るとともに、ペースト加工施設、カフェ、栗焼酎販売会社等が連携し、クラスターの形成を図る。
【再掲】水産業中央地域広域展開プロジェクト	ブランド養殖魚の産地機能と、弘化台周辺の集荷・加工機能を生かしたクラスターの形成を図る。	
幡多	幡多地域広域水産業プロジェクト	養殖魚やメジカ加工ビジネスを核とする生産から加工・流通に至る幡多地域での広域産業クラスターの形成を図る。
県全域	林業・木材産業クラスタープロジェクト	木材加工を核として、木材生産から販売・再生産までの好循環を生み出す。
	JAグループ・流通事業者による加工・業務用野菜の産地化プロジェクト	需要が増加傾向にある「加工・業務用野菜」の産地化を進め、マーケットイン型の商品開発や「生産・加工・流通・販売」までの新たな仕組みの構築に取り組む。